

滝川市長 前田 康吉 様

滝川市の環境施策に関する評価報告及び提言書（案）

令和4年 月 日

滝川市環境市民委員会

1 趣旨

この評価報告書及び提言書は、滝川市環境基本条例第 29 条に基づき、滝川市環境市民委員会（以下「委員会」という。）として調整した評価及び提言などについて、滝川市長に対して年に一度、提出するものである。

なお、ここで評価対象とするのは前年度（令和 2 年度）の取り組みに対する評価を含め、計画期間内での施策などの進捗状況についてである。

2 令和 2 年度までの取り組みに関する評価について

令和 2 年度までの取り組みについて、別添「評価シート」のとおりとし、特に次の点について評価と提言する。

1) 環境にやさしく資源を有効に活用する循環型社会を目指すまち

ごみ減量対策として、ごみの分別を推進し、資源として再利用可能なものについて、一年を通じ回収拠点を設置し、回収量も増加していることを評価する。また、街路樹の落ち葉用回収袋をくらし支援課でも配布して、落ち葉とごみを分別し、たい肥化していることは、ごみ減量化だけでなくリサイクルにもつながっていることを評価する。

2) エネルギーを大切にし、環境への負荷の少ないまち

地球温暖化を防止するために、温室効果ガスの発生を抑制する必要がある。地球規模の対策が求められるが、本市においては太陽光発電など自然エネルギーの導入や空知自動車学校による「環境、燃費にやさしい自動車運転」エコドライブの実践が行われている。

また、公共施設や街路灯の LED 化が進められており、温室効果ガスの削減と地球温暖化防止が着実に進められていることを評価する。

3) 身近な自然と触れ合うことでその大切さや素晴らしさを実感できるまち

環境保全型農業や農業体験、地産地消について関係機関団体と連携し、推進していることを評価する。環境にやさしい農業の推進は自然環境の保全につながることから、それを支える取り組みが大切であり、理解や関心を高めてもらうため、農業体験の充実や地元農畜産物を活用した食育・地産地消の推進が必要である。引き続き、関係各課、機関団体等と連携し、目標達成に向けた取り組みを継続的に行うことを期待する。

4) みんなが学び、共有することによる環境保全の環（わ）が広がるまち

環境学習リーダーについては、補助事業が終了した後も滝川高校と連携し、取り組みを進めていたことを評価する。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染予防のため実施を見送ったことは止むを得ないが、今後、オンライン開催など実施に向け、取り組んでいただきたい。

3 今後の取組に向けた提言について

今後に向けたあるべき姿や方向性、検討を要望する事項については、次の点を提示する。

1) ごみの減量化・分別について

資源ごみの分別は、限りある資源の有効活用だけではなく、ごみ減量化にも極めて効果大きい。しかし、未だ資源ごみが分別されず、燃やせるごみや燃やせないごみの中に混在しているケースが見受けられる。

特筆すべき取り組みとして、地域の協力の下で行われる集団資源回収は、地域住民のリサイクル意識を向上するとともに、分別回収によるごみ減量化の実現につながることから、こうした市民の主体的な取り組みが持続されるよう検討いただきたい。

2) プラスチックごみについて

プラスチックごみは、環境汚染や自然破壊などの原因になるため、世界中でその削減が課題となっており、日本においては、令和4年4月から「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行される。

レジ袋の有料化に伴い、買い物時のマイバッグ持参が市民に定着している。また、滝川市では、ペットボトルの高品質リサイクルを目指し、令和4年4月からラベルを外したペットボトルのみの回収に完全移行する。令和3年度は、試行期間と位置づけたところ、すでに9割以上が外されており、大きな効果が期待される。

今後は国の動向を踏まえ、プラスチックごみの発生を抑える対応や処理の仕方などが、日常生活に定着するような施策を進めていただきたい。

3) 地球温暖化対策の推進について

気候危機が現実的なものとなっており、脱炭素化に向けた動きが国内においても急速に進んでいる。地球温暖化を防止するためには、温室効果ガスの発生を抑制する必要がある、その解決策として、太陽光発電など自然エネルギーの利用促進や消費電力が少ないLED照明などの普及が求められる。

市民一人ひとりが地球温暖化についての知識を深め、行動するために、市は様々な機会を通じて情報の収集・発信に努めていただきたい。

委員会としては、今後、滝川市が環境施策を展開していく中で、以上の各事項について十分に留意し取進めるよう要望し、報告及び提言する。

令和4年 月 日

滝川市環境市民委員会 委員長 高瀬 慎二郎